

教育基本法改定反対の緊急アピール

国際基督教大学教職員有志

現在、衆議院において「教育基本法改正案」が審議されており、新聞報道では早くも来週中にもそれが通過する公算が強いとされています。こうした危機的事態を深く憂慮し、国際基督教大学(ICU)教職員有志は、教育基本法改定反対を訴えるべく緊急アピールを公表いたします。

1 「教育基本法改正」案の論拠の曖昧さ

現行教育基本法の改定を求める政党の主張や国会内外の議論を聞いておりますと、教育現場の「いじめ」問題その他が、あたかも現行教育基本法の欠陥に由来するような意見が直接間接に出てまいります。これは教育基本法をスケープゴートにするような欺瞞的な議論です。このような筋をはき違えた改定論議に賛成することはできません。

周知の通り、現行の教育基本法は、帝国日本の侵略戦争の「惨禍」を深く反省し、民主主義の原理、世界平和の原理、個人の尊厳の原理、豊かな文化創造の原理に基礎をおいた教育理念を謳い上げた基本文書です。そこには一本筋の通った教育の理念が示されており、内容と表現の双方において品位ある格調高いものとなっております。現時点からみても、現行の教育基本法の見識性は明らかであり、21世紀の日本社会と人類社会へのその貢献と寄与は尽くしえないものがあります。

今一番求められているのは、現行の教育基本法の本質と諸原理に基づいて、その教育理念を実際の教育現場に生かしていくことであり、受験本位の競争教育や格差教育の歪みを是正し、「いじめ」や「学級崩壊」などの教育現場の諸問題を忍耐強く解決していくことです。現在、国会で審議されています政府与党の「改正」案は、総花的かつ玉虫色の内容となっており、政治的駆け引きの産物にすぎません。それは、教育の理念において原理的に一貫しておらず、部分的に戦前戦中の国家主義的教育の復古を求めるものです。この点を含め「改正」案は、内容および表現の双方において問題含みであり、到底、21世紀の「教育の憲法」と呼ぶことのできる条文とはなっているとはいえませんが、この改悪は断固認めることはできません。

2 「改正」案の狙いへの危惧

「改正」案は連立与党の公明党の強い意見を反映し、また国会で通過しやすくするために、現行教育基本法の重要な用語である「民主的で文化的な国家」、「個人の尊厳」、「世界の平和」などといった概念を継承しています。しかし、今次の「改正」案の本当の狙いは、むしろ一定のイデオロギーに基づいて復古的な愛国主義の国家主義的教育(例、第2条五に記されている

「伝統と文化を尊重し、・・・我が国と郷土を愛する・・・態度を養うこと」)を制度化するところにあることを危惧します。前文や第2条三の「公共の精神」もそのような復古的愛国主義の意味において曲解される危険が高いことを恐れます。同時に「改正」案作成者の狙いにおいては、教育基本法の改定は、憲法改定の道を準備するもの、その前哨戦と位置づけられていることも、大いに警戒を要する点です。

また、「改正」案第16条(教育行政)では教育現場への介入と管理において国および地方公共団体に大幅なフリーハンドを認める条文となっております。現行の教育基本法第10条は、憲法第26条の「教育を受ける権利」の規定に基づき、「教育は、不当な支配に服することなく、国民全体に対し直接に責任を負って行われるべきものである」と定めています。ここには国民から信託を受けたものとしての教育の「内的事項」に関しては、政府および教育行政は基本的に不介入でなければならないとの考え方(家永訴訟・杉本判決以降の司法判断で再確認)が示されております。しかし、「改正」案第16条の狙いは、この重要原則を否定し、教育行政の介入の「規制緩和」をはかるところにあります。もしこれが認められるならば、教育現場への締め付け(例、通達・職務命令による生徒と教員への卒業式などでの国歌・国旗をめぐる強制化、さらに教職員の処分など)が強化され、それが合法化され、結果として教育現場での「個人の価値」や「自主および自律の精神」(「改正」案第2条二)が侵害されることは目に見えています。(本年9月21日の東京地裁判決では東京都の国旗・国歌をめぐる強制が非合法とされましたが、これは現行教育基本法の下で妥当な判決ですが、「改正」案では合法とされる危険性が強まります。)

以上の事由により、私たち国際基督教大学(ICU)教職員有志は、教育基本法改定に強く反対いたします。

2006年11月9日

発起人

藤田英典、稲正樹、磯崎三喜年、木部尚志、森本あんり、成澤光、
染谷臣道、ウィリアム・スティール、立川明、高澤紀恵、千葉真

賛同者リスト 総計98名(発起人*含む/匿名希望11名含む) #2006年11月20日現在

会田伸生、青井明、Michael Bourdags、千葉尚子、千葉真*、Ken Enochs、福田保、藤田英典*、
洋子、長谷川淳、平田泉、本郷好和、堀内晶子、黄仁相、市川智子、五十嵐孝子、飯塚信子、
池田理知子、生駒夏美、稲正樹*、伊礼有一、石川寛、磯崎三喜年*、伊東辰彦、岩切正一郎、

上遠岳彦、加藤恵津子、木部尚志*、菊池秀明、北原葉子、小島文英、古藤友子、栗山容子、黒川美紀子、Mark W. Langager、前田幸男、町田健一、John C. Maher、Shaun Malarney、宮川美咲、宮崎修行、毛利勝彦、森島泰則、守屋靖代、森分大輔、森本あんり*、村上むつ子、永田竹司、中村一郎、中山祐美子、那須敬、成澤光*、西川昌弘、西尾隆、大石奈々、大沢貫中、小澤伊久美、Temario Rivera、左近和子、佐野好則、笹尾敏明、佐藤夕子、佐藤豊、佐柳信男、Gerhard Schepers、清水勇二、鈴木寛、鈴木理恵、鈴木庸子、染谷臣道*、M. William Steele*、立川明*、高澤紀恵*、高田明宜、高橋伸、田中かず子、田仲康博、田中祐介、円谷恵、塚島夕子、Wilhelm Vosse、Paul Wadden、Jacqueline Wasilewski、山川あい子、山本裕之、山本優佳子、吉野輝雄
ほか匿名希望 11名